



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社

上場取引所 東

コード番号 8113 URL <http://www.unicharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高原 豪久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務本部長

(氏名) 秋田 泰

TEL 03-3451-5111

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	182,214	5.6	22,169	3.4	19,758	△10.1	24,630	91.3
22年3月期第2四半期	172,530	1.5	21,440	40.5	21,988	46.0	12,876	60.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	391.40	390.69
22年3月期第2四半期	202.30	202.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	515,726	217,766	39.4	3,232.11
22年3月期	307,773	207,413	59.7	2,922.16

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 203,391百万円 22年3月期 183,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
23年3月期	—	14.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	393,000	10.1	46,000	2.1	43,000	△6.2	32,000	30.8	508.51

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

平成23年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮しない額を記載しております。詳しくは、次頁(※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)をご覧ください。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有

新規 一社（社名 _____）、除外 1社（社名 ユニ・チャームペットケア株式会社）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 68,981,591株 22年3月期 68,981,591株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 6,053,264株 22年3月期 6,052,515株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 62,928,728株 22年3月期2Q 63,651,973株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、当社は、平成22年4月30日開催の当社取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関して決議し、平成22年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割いたしました。平成23年3月期（予想）の配当金額については、株式分割を勘案した金額を記載しております。

また、当該株式分割後の平成23年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は以下のとおりであります。

通 期 169円50銭

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11
(6) その他の注記事項.....	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）における当社グループをとりまく経営環境は、海外市場におけるパーソナルケア関連商品の需要が引き続き拡大しております。一方、国内市場における消費環境は依然として厳しく、パーソナルケア及びペットケア関連商品の一部においては店頭価格が低下しております。

海外事業では、主要参入各国において展開エリアの拡大と積極的なプロモーション活動による販売促進を進めました。また、国内パーソナルケア事業では、高付加価値商品の投入による販売促進と収益力の強化に取り組みました。ペットケア事業におきましても、主力の高付加価値カテゴリーの商品ラインを充実し販売促進に取り組みました。

この結果、第2四半期連結累計期間における売上高は182,214百万円（前年同四半期比5.6%増 為替変動要因を除くと実質前年比6.0%増）、営業利益は22,169百万円（前年同四半期比3.4%増 為替変動要因を除くと実質前年同期比3.7%増）、経常利益は19,758百万円（前年同四半期比10.1%減）、四半期純利益は24,630百万円（前年同四半期比91.3%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① パーソナルケア

【ベビーケア関連商品】

国内では、『マミーポコ』、『マミーポコパンツ』のパッケージ及び商品のデザインに、ディズニー・コンシューマ・プロダクツとのライセンス契約による日本初の「ベビースティッチ」のデザイン企画を採用し、販売促進に取り組みました。

一方、中国では引き続き、参入都市を拡大し売上成長と利益改善を進めました。またその他のアジア参入各国においても売上成長及び収益力の改善を図りました。

【フェミニンケア関連商品】

国内では、生理中でも安心して熟睡できる夜用ナプキンとして高い支持を頂いている『ソフィ超熟睡ガード』シリーズから、お客様の要望にお応えして今年も夏専用ナプキン『ソフィ超熟睡ガード 涼肌』シリーズを発売し、お客様のニーズに応じてまいりました。また、センターインブランドは、積極的なプロモーション活動を展開し売上と利益の拡大に取り組みました。

海外では、アジア参入各国において、販売エリアの拡大と、各国のニーズに合わせた夜用タイプ、スリムタイプなど高付加価値ナプキンの販売を強化し売上の拡大と収益力を強化しました。

【ヘルスケア関連商品】

大人用排泄ケア用品『ライフフリー』ブランドより、最も薄く、下着らしい商品『ライフフリー超うす型 下着感覚パンツ』を発売し、お客様のニーズに応えるとともに、テレビコマーシャル・WEBサイトや店頭などを通じたプロモーション活動を展開し販売促進に取り組みました。

【クリーン&フレッシュ関連商品】

化粧水をお肌に無駄なくたっぷり浸透させたいというお客様のニーズにお応えし、従来の1/2の化粧水で驚くほどのうるおう化粧用パフ『シルコット うるうるスポンジ仕立て』を新発売し販売促進に取り組みました。

この結果、パーソナルケア事業の売上高は155,857百万円、営業利益は18,759百万円となりました。

② ペットケア

消費者のニーズを捉えた商品の開発・市場創造に努め、国内ペット飼育の4大潮流「室内飼育化」「小型犬化」「高齢化」「肥満化」を踏まえた商品ライン拡充と販売促進を行いました。

ペットフード部門では、小型犬の増加に対応した小さいサイズで取り出しやすいカップタイプの新商品『愛犬元気カップ』を発売し、ペットフードのラインアップを充実しました。

ペットトイレタリー部門では、新開発の消臭フィルターと消臭・吸収シートの2層構造でモレとニオイを強力にガードする『わんちゃん用デオトイレ』を発売しました。

この結果、ペットケア事業の売上高は23,119百万円、営業利益は3,251百万円となりました。

③その他

不織布・吸収体の技術を活かした業務用商品分野においては、食品包材事業を中心に収益改善を進めました。

この結果、その他事業の売上高は3,237百万円、営業利益は145百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結累計期間末における総資産は515,726百万円（前連結会計年度比67.6%増）となりました。主な増加は、現金及び預金89,966百万円、繰延税金資産57,091百万円、のれん54,297百万円であり、主な減少は、受取手形及び売掛金△3,056百万円、機械装置及び運搬具（純額）△2,488百万円によるものです。

(負債)

当第2四半期連結累計期間末における負債合計は297,959百万円（前連結会計年度比196.9%増）となりました。主な増加は、転換社債型新株予約権付社債80,671百万円、長期借入金69,655百万円、未払法人税等49,492百万円であり、主な減少は、短期借入金△2,650百万円、支払手形及び買掛金△2,636百万円によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間末における純資産は217,766百万円（前連結会計年度比5.0%増）となりました。主な増加は、当第2四半期純利益24,630百万円であり、主な減少は、少数株主持分△9,149百万円、為替換算調整勘定△3,000百万円、剰余金の配当金の支払△2,202百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第2四半期連結累計期間末における自己資本比率は39.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、平成22年7月30日発表と変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

前連結会計年度末において当社の連結子会社であったユニ・チャームペットケア株式会社は、平成22年9月1日付で、当社を存続会社とし、当社の特定子会社であるユニ・チャームペットケア株式会社を消滅会社とする吸収合併を行ったことに伴い、当該特定子会社が消滅いたしました。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

記載すべき重要な事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

②「企業結合に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

③「表示方法等の変更」

(四半期連結貸借対照表関係)

前第2四半期連結累計期間において、投資その他の資産の「その他」に含めておりました「前払年金費用」は、資産の状況をより明確に表示するため、区分掲記することと致しました。なお、前第2四半期連結累計期間において投資その他の資産の「その他」に含んでいた「前払年金費用」の金額は5,531百万円であります。

前第2四半期連結累計期間において、投資その他の資産の「その他」に含めておりました「繰延税金資産」は、重要性が増したため、区分掲記することと致しました。なお、前第2四半期連結累計期間において投資その他の資産の「その他」に含んでいた「繰延税金資産」の金額は1,050百万円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めておりました「助成金収入」は、営業外収益総額の100分の20以上になったため、区分掲記することと致しました。なお、前第2四半期連結累計期間において営業外収益の「その他」に含んでいた「助成金収入」の金額は76百万円であります。

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	189,842	99,875
受取手形及び売掛金	38,586	41,643
有価証券	1,899	1,499
商品及び製品	11,832	11,607
原材料及び貯蔵品	9,761	8,205
仕掛品	260	273
その他	18,008	9,222
貸倒引当金	△32	△75
流動資産合計	270,160	172,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,152	26,507
機械装置及び運搬具(純額)	42,494	44,983
その他(純額)	22,243	23,866
有形固定資産合計	94,890	95,356
無形固定資産		
のれん	66,326	12,029
その他	2,456	2,582
無形固定資産合計	68,783	14,612
投資その他の資産		
前払年金費用	5,600	5,534
投資有価証券	17,239	18,052
繰延税金資産	58,195	1,103
その他	1,851	1,887
貸倒引当金	△995	△1,025
投資その他の資産合計	81,891	25,552
固定資産合計	245,565	135,521
資産合計	515,726	307,773

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,498	36,135
短期借入金	3,655	6,305
未払法人税等	59,882	10,390
賞与引当金	4,035	3,858
その他	39,683	35,635
流動負債合計	140,756	92,324
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	80,671	—
長期借入金	70,599	943
退職給付引当金	2,372	2,325
その他	3,561	4,766
固定負債合計	157,203	8,035
負債合計	297,959	100,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	18,802	18,802
利益剰余金	210,834	188,696
自己株式	△36,337	△36,329
株主資本合計	209,291	187,161
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,634	2,795
繰延ヘッジ損益	15	8
土地再評価差額金	△89	△618
為替換算調整勘定	△8,460	△5,459
評価・換算差額等合計	△5,900	△3,273
少数株主持分	14,374	23,524
純資産合計	217,766	207,413
負債純資産合計	515,726	307,773

(2) 四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	172,530	182,214
売上原価	94,862	98,296
売上総利益	77,667	83,917
販売費及び一般管理費	※1 56,227	※1 61,748
営業利益	21,440	22,169
営業外収益		
受取利息	251	299
受取配当金	145	184
為替差益	1,047	—
助成金収入	—	200
その他	495	291
営業外収益合計	1,940	976
営業外費用		
支払利息	111	59
売上割引	1,231	1,581
為替差損	—	1,583
その他	49	162
営業外費用合計	1,392	3,387
経常利益	21,988	19,758
特別利益		
固定資産売却益	25	992
関係会社出資金売却益	—	970
その他	—	91
特別利益合計	25	2,054
特別損失		
固定資産処分損	254	460
貸倒引当金繰入額	393	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	71
その他	120	114
特別損失合計	767	646
税金等調整前四半期純利益	21,246	21,166
法人税、住民税及び事業税	7,842	62,434
法人税等還付税額	—	△1,054
法人税等調整額	△1,899	△65,532
法人税等合計	5,943	△4,152
少数株主損益調整前四半期純利益	—	25,319
少数株主利益	2,426	689
四半期純利益	12,876	24,630

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	パーソナルケア (百万円)	ペットケア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	144,598	22,476	5,455	172,530	—	172,530
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	1	1	(1)	—
計	144,598	22,476	5,456	172,532	(1)	172,530
営業利益	16,966	3,883	567	21,417	22	21,440

(注) 1 事業区分の方法

各事業区分の方法は、製品・販売市場等の類似性を考慮して、当社の売上集計区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

- (1) パーソナルケア……ベビーケア関連製品、フェミニンケア関連製品、ヘルスケア関連製品等
- (2) ペットケア ……ペットフード製品、ペットトイレタリー製品
- (3) その他 ……食品包材製品、産業資材製品、ファイナンス業務等、その他

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	ヨーロッパ・ 中東 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	107,076	45,150	20,303	172,530	—	172,530
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	7,259	1,083	—	8,343	(8,343)	—
計	114,336	46,233	20,303	180,874	(8,343)	172,530
営業利益	14,862	5,619	1,065	21,547	(107)	21,440

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……台湾、中国、韓国、タイ、インドネシア、オーストラリア等
- (2) ヨーロッパ・中東……オランダ、サウジアラビア

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	アジア	ヨーロッパ	中東・北アフリカ・北米	計
I 海外売上高（百万円）	45,157	12,295	8,662	66,116
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	172,530
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	26.2	7.1	5.0	38.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾、中国、韓国、タイ、インドネシア、オーストラリア等

(2) ヨーロッパ……………オランダ等

(3) 中東・北アフリカ・北米……………サウジアラビア、エジプト、アメリカ等

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、パーソナルケア、ペットケア、その他の3つの事業単位を基本に組織が構成されており、各事業単位で日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは「パーソナルケア」「ペットケア」「その他」の3つを報告セグメントとしております。

「パーソナルケア」は、ベビーケア関連商品等、フェミニンケア関連商品等、ヘルスケア関連商品等、クリーン&フレッシュ関連商品等の製造・販売をしております。「ペットケア」は、ペットフード関連商品等、ペットトイレタリー関連商品等の製造・販売をしております。「その他」は、産業資材関連商品等の製造・販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	パーソナルケア	ペットケア	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	155,857	23,119	3,237	182,214
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	11	11
計	155,857	23,119	3,248	182,226
セグメント利益 (営業利益)	18,759	3,251	145	22,157

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	22,157
セグメント間取引消去又は全社	12
四半期連結損益計算書の営業利益	22,169

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当社は、当社の連結子会社であるユニ・チャームペットケア株式会社の普通株式を平成22年5月6日から平成22年6月16日までの期間において公開買付けを実施いたしました。また、平成22年9月1日付で、当社を存続会社とし、当社の連結子会社であるユニ・チャームペットケア株式会社を消滅会社とする吸収合併を行いました。

これによる当第2四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は55,448百万円であり、ペットケアセグメントにおける増加であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) その他の注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
※1 販売費及び一般管理費の主なもの	※1 販売費及び一般管理費の主なもの
販売運賃諸掛 8,877百万円	販売運賃諸掛 9,535百万円
販売促進費 20,166百万円	販売促進費 24,185百万円
広告宣伝費 5,313百万円	広告宣伝費 6,162百万円
従業員給与・賞与 5,112百万円	従業員給与・賞与 5,197百万円
賞与引当金繰入額 1,634百万円	賞与引当金繰入額 1,681百万円
退職給付費用 719百万円	退職給付費用 730百万円
減価償却費 988百万円	減価償却費 771百万円